

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス **minami@jcp-shinagawa.com**

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



第2回定例会
一般質問

公約実現に全力 住宅耐震と家具転倒防止

東日本大震災を経験して、住宅の耐震化と家具転倒防止策は命を守る上で重要な対策だと痛感しました。そこで、震災後初めての区議会ではこの問題を石田ちひろ議員が取り上げましたので紹介します。

耐震診断できる技術者を増やして対応を

大震災後、住宅耐震診断をしてみようという区民が増えたようで、2ヶ月待ちになっています。

石田ちひろ議員の質問は、その状況を受けて耐震診断士の増員を求めました。区の答弁は、耐震診断の申請が増えていることを認めたものの、診断士の増員については、「区と協定を結んでいる建築事務所協会、日本建築構造技術者協会だけでなく、東京都に木造耐震診断事務所として登録している専門家に協力を求めるなど対応している。」こと。「耐震診断を行うことができない専門家は建築技術者の中だけでも少数である」



り、知識や経験を必要とし、また、診断の信頼性を求められるので安易に増員できない」という答弁でした。

家具転倒防止策は全世帯を対象に

現在の転倒防止策の対象は高齢者のみ世帯と障害者のみ世帯なので、全世帯を対象にせよという質問でした。

区の答弁は、「自助の分野」と位置づけ、助成対象の拡大は考えていないこと、取り付けについて防災訓練などで普及していくと答弁。

1世帯2万円の現行制度を全世帯にしても32億円です。4・5・6月の申請数は昨年より2・2倍に増えています。命を守るために税金を使うことに区民は無駄だということでしょうか。全世帯対象にこそするべきです。

補正予算案審議 総務委員会

大量の扇風機購入は区内商店に発注をと求める

震災対策と節電対策などを中心とした補正予算案は、総額3億4200万円です。南は賛成しましたが、具体的な内容を報告します。

震災対策として計上したものは、防災区民組織が使うための救出用工具セット、防災地図印刷、町会や自治会館の耐震診断補助と設計費補助、備蓄物資購入、中学生のヘルメット購入、庁舎などの割れガラスの取替え、高潮・津波対策の検討基礎調査費などです。また、節電対策としては扇風機の購入、LED照明器具を取り付けるための工事が必要な場合、その工事費と、同時期に行うLED照明器具の購入費用などです。

647台購入の扇風機
購入は区内電気店でと
求める

区は、保育園や区民集会所など多くの施設に節電用として扇風機の購入を予定しまし

た。今後は節電だけでなく、省エネルギーを意識して暮らす必要があると思いますので、扇風機は夏だけでなく冬の暖房にも使用するものだと思います。

南は、不況下だけに大量に購入するなら大規模小売店ではなく区内商店街にある電気店にこそ発注するべきだと求めました。区は、「区に登録している業者」という言い方をしましたが、これでは必ずしも区内商店街にある電気

店にはなりません。今までにない大量購入だけに小さな電気店を支えるという考え方に立つべきです。

被災地支援のツアー参加者に商品券を配布

エツと思うような予算もありました。区内観光業者が企画する被災地へのツアーに参加したら現地で買物するよう、共通商品券を配布という企画です。



公園が暗い 本会議で各党からも指摘
6月23・24日の本会議で、節電対策を理由にして公園内の照明灯を消している問題について各党が否定的に取り上げました。

南も前の「報告」で指摘しましたが、区は、周辺から問い合わせがあれば調査するといいます。節電も大事ですが、安全が優先されるべきではないかと思っています。



生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523